

一般的には花まつりと言え
桜の花を見るお祭りなのでと
理解されている人が多いかもし
れません。しかし日本の仏教
で「はなまつり」といえばお釈
迦様がこの世にお生まれくださ
れたことを祝いする行事を言い
ます。言うまでもなくお釈迦様
は仏教をお開きになられた方
です。紀元前五世紀、今から約
二五〇〇年前、中国歴の四月八
日にお生まれになられたと言
い伝えられています。
お釈迦さまが仏教をお開きに

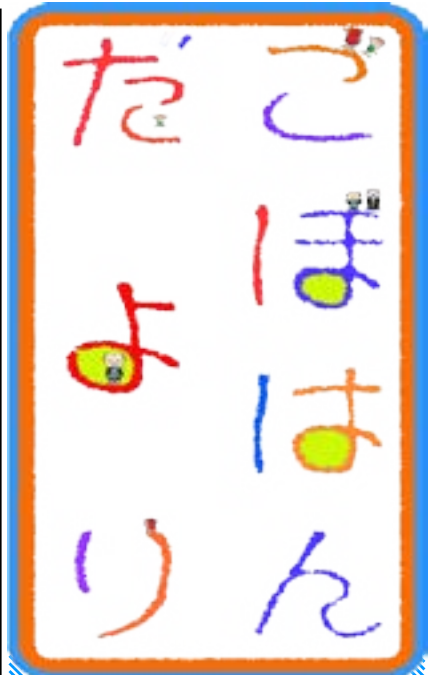
如来世に興出したもう所以は、 唯弥陀の本願海を説かんとなり



すべての「いのち」に
ありがとう

4月8日はお釈迦さまの誕生日

日時: 4月6日(土) 午後1時30分より
会場: 西二俣長福寺
主催: 老田仏教会



発行: 真宗大谷派 常入寺
富山市東老田 787 番地
電話 (076) 436-0816
FAX (076) 436-2766
携帯 090-3764-3983
発行責任: 青井和成



なつて何を私たちに伝えられたのかということについて宗祖親鸞聖人は「(釈迦)如来世に興出したもう所以は唯弥陀の本願海を説かんとなり」と正信偈の中に記されています。お釈迦さまはたくさんの説法を説かれ、それが經典として今わたし達の所に伝わってきています。お釈迦様が私たちに一番仰られたかったのは阿弥陀仏がなぜ仏になられたのか、なぜ私たちが阿弥陀如来が浄土に生まれさせてくだされようとしているのかという訳なのだと言われているのです。そのことを伝えんために、その人その人に応じて、その人が理解し易いようにいろいろと御説法なされたわけです。

仏教經典は八万種類と沢山あるといわれていますが、そういう視点で私たちは經典を聞いていかなしいけないことでしょうか。自分勝手な思いで仏教經典をひもといていってもあまり意味のないことなのでしょう。

井波別院巡回法座が2月18日常入寺にて開催されました、いつもながらの住職の手際の悪さゆえ案内を配れなかったり遅れたりしましたが、雨の降る中たくさんの方にお参りくださいました。法座の中で布教使の藤井さんはお内仏(ご本尊)中心の生活を私たちは心がければならないということをお話くださいました。また有縁の方々でわいわいがやがや言いながら昼食を頂いたことです。多くの方々と共に食事をするということの大切さも思わせて頂きました。



城端別院 御法宝物御巡回

3月28日(木)
午前9時30分より
午後3時30分まで

会場 常入寺本堂
布教使 高島 静心 師

ご命日のつどいと併せて勤めさせていただきます。

ご近所の方をお誘いの上是非お参りください。おまちいたしております。

高岡教区
第八組
同朋の会
公開講座

ふしだん
節談説教

THE
3 月 30 日 (土) 午後 2 時より

会場 **万徳寺** (射水市布目沢538
TEL 0766-54-1387)

講師 **祖父江 佳乃** 師
(名古屋市有隣寺住職)

講題 親鸞聖人一代記より **念仏停止の法難**

聴講料 無料 (但し賽銭を集めさせていただきます)

「節談説教」は、浄土真宗の法話の形態で、ことばに節（抑揚）をつけ、洗練された美声とゼスチャーをもって演技的表現をとりながら、聴衆の感覚に訴える詩的・劇的な情念の説教を言います。落語や講談、浪花節の源流ともなったものです。



主催 真宗大谷派高岡教区第八組同朋の会